



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度
国際ロータリーのテーマ
人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
さらなる前進

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：八木沢幹夫
幹 事：関谷 俊征
副 幹 事：星野 一郎
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋1504号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1758回例会

～基本的教育と識字率向上月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年9月29日(木) 雨/晴れ 第11回

司 会：鈴木健司会場副委員長
ゲ ス ト：(株)電通 電通総研メディアイノベーションラボ
統括責任者 奥律哉さん

副会長挨拶

市岡正蔵副会長

皆さんご存知の通り、フランスには地方地方で個性的なシャトーがたくさんあります。私の身内にフランス人が加わり、フランスに親戚ができました。そんな切っ掛けで、今日はボジョレーヌーボ例会に先駆けて、その彼の出身地であるPAU(ポウ)と、世界遺産の町ボルドーのシャトー・ワインの話をしたと思います。言葉の定義ですが、Winery(ワイナリー)は英語、château(シャトー)がフランス語です。Wineも英語で、フランス語ではVin(ヴァン)と言います。どちらも同じ意味です。そしてフランスワインの多くはchâteau～何々とネーミングされます。



PAUはフランス南部ピレネー山脈の麓に位置する人口8万人の町です。ピレネー山脈は標高4,300mと富士山より高く、スペインとの国境沿いに約430kmも続く長い山脈です。この地方で作っているワインは赤白ありますが、少し甘みのある白ワインが有名です。透明な瓶に詰められた琥珀色のワインは一見ウイスキーに似ています。この琥珀色の白ワインはPAU特産のプレミアムなワインです。また、PAUは元タイギリス人が作った、フランスの中でもスペシャルな町です。当然イギリス人が多く、ワインもさることながら、フランスで2番目に大きな競馬場があり、毎年10月に開催される競馬は、各国から参加した優秀なサラブレッドを一同に見る事ができます。パリからは飛行機で約1時間半の場所です。

世界遺産の町ボルドーは全体で8,650ものシャトーがありますが、そのうち61のシャトーのみ格がつけられています。ボルドーの北に位置するサンテミリオンと海沿いメドック地区には有名シャトーが集中しています。また、ボルドーには海に注いでいる、ガロンヌ川という大変大きな川があります。そこには、沢山の天然うなぎが生息しています。ボルドーの人はうなぎが大好きです。赤ワインにはうなぎというのはボルドー人の常識です。そして、アペリティフにおいても、シャンパンではなく、リレというアペリティフ専用のワインで楽しんでいます。

行ったことはありませんが、フランス南部にリヨンという町があります。この近くに点在する38の市町村を総称してボジョレー地方といいます。この場所でもアルプス山脈の麓で、標高700mに位置し、フランスではかなり高い場所でもワインが生産されています。当然ここも朝霧が発生していると思われます。

ボジョレーワインは9月に収穫を行い、4～8日かけて熟成生産されます。

ボルドーワインの特徴である2種類以上のブレンド製法は、ボジョレーワインには適用されません。そして生産量の80%が日本・アメリカ・イギリス・スイス・ドイツの5ヶ国に輸出され、11月の第三木曜日に同時に解禁されます。フランス国内では主に料理酒として使われ、飲むことはないようです。

気付いたことは、フランスの有名ワインはいずれも高い山脈の麓でどうも栽培していることです。日中と夜の寒暖差が激しく、朝霧が発生する場所です。この気候風土がぶどうに甘味を与えると感じました。

今年の6月1日に世界最大規模のボルドーワイン博物館 La Cité du Vin (ラ・シテ・デュ・ヴァン)がオープンしました。フランスに行かれましたら、世界遺産の町ボルドーまで足を伸ばしてみたいかがでしょうか。

ニコボックス

鳥山政明ニコボックス副委員長

- ・誕生日です。佐藤 善乙さん
- ・9月26日は私の誕生日でした。57歳になりました。目が遠くも近くも見えにくいです。大嶽 達郎さん
- ・敬老祝品をいただき有難うございました。鈴木 圓三さん
- ・敬老の祝品有難うございました。森 恒夫さん
- ・先日第15回岐阜美濃チャリティーに参加頂き有難うございました。お陰様で東日本に60万、熊本に26万贈りました。感謝!! 内田 久利さん
- ・五島は大雨とのこと。日本中被害がないことを願っています。長谷川 隆さん
- ・9月25日に、昨年の誕生日から続けていたウォーキングで大曾根駅から塩尻駅まで(延べ17回)歩くことができました。最後の2回は距離が長かったので、終わって4日経過していますが未だに筋肉痛です。田中 宏さん
- ・皆様より支援をいただいている「あつた宮宿会」が昨日、中日新聞の夕刊で紹介されました。今後もご支援お願いします。鈴木 淑久さん

出席報告

鳥山政明出席副委員長

会員65名 出席44名 (出席計算人数45名)

出席率 81.5% 9月15日は補填により 96.4%

幹事報告

関谷俊征幹事

- ・10月6日(木)11:00から長期ビジョン委員会を、13:40から第4回理事会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・9月27日(火)事務局の引越が、9月29日(木)に電話回線工事が完了しました。インターネット環境は順次整えていきます。

メジャードナー表彰

近藤雄亮さんが米山奨学会よりメジャードナー表彰をされ、八木沢会長より感謝状と記念品が贈呈されました。



委員会同好会報告

ゴルフ部会9月度(第371回)

開催日:9月21日(水)

	氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝	村上学さん	84	15	69
2位	湯澤勇生さん	80	9	71
3位	鈴木淑久さん	81	5	76

第372回10月度ゴルフ例会は10月21日(金)、緑ヶ丘カントリークラブにて4RC親睦ゴルフコンペとして開催されます。

卓話 (株)電通 電通総研メディアイノベーションラボ統括責任者 奥律哉さん

激変する若者のメディア利用行動

若者のメディア利用行動について、特にスマートフォンの使い方を中心に話します。まず最初に、スマホと従来型携帯電話(ガラケー)とPCとタブレットの年齢別普及率についてデータをご紹介します。

東京エリア男性のスマホ所有率は、10~20代で約90%、60代が60%で、昨年からの普及率の伸びが少なく、スマホへの乗り換えが一段落した感じです。ガラケーは依然年配者が沢山持っていますが、若い人があまり持っていません。スマホが伸びた分ガラケーが減っているかというところではなく、二個持ちが増えていきます。

また、パソコンは60代が80%の所有率になっています。「デジタルにデバインドされているシニア世代」という言葉がありますが、実態はそうではないです。実はパソコンを持っていない筆頭は、タブレットやスマホで用事が済む10代です。文字入力もフリック入力が基本なので、キーボードのアルファベット入力は苦手です。今後皆様のもとに入社してくる新入社員は、パソコンのリテラシーが期待するほど高くありません。今の30~50代の様に彼らがPCを使いこなすと思っていると、仕事が終わっていない事があると思います。彼らは、スマホでできる事がパソコンでもできるんだという感想を持つほどスマホファースト世代なのです。

次に、女性のスマホ普及率は若い世代が95%です。年配者は男性と違って昨年と今年の普及率に差があり、スマホ普及がまだ途上であることを伺わせます。また、スマホに乗り換えた分ガラケーが減っており、男性ほどは二個持ちはしていないことがわかります。パソコンは、専業主婦の方も多いため、男性ほどは普及していません。

スマホの利用実態についてですが、スマホの使い方は、秒単位で使われる為、何をどの位使っているのかを調査するのは非常に困難です。そこで電通総研では、スマホのログデータから利用実態を可視化しました。こちらのデータは2015年7月の1か月間のログデータから集計されたグラフです。

ランチタイムと、ゴールデンタイムはアプリ起動率が67%で、同じ時間帯のテレビが点いている率(HUT)よりも多いです。夜中の3時~4時ごろのアプリ起動率が約15%ありますが、これは本人が寝ている(寝落ちしている)のにアプリだけが起動していることを表しています。アプリの利用回数はLINE、twitter、Facebookといった大半でゲームも根強い人気があります。

アプリは一日一人当たり約49回起動しています。女性の方が男性より多く、年齢の若い方の方が年配者よりも多いです。10代女性については1日65回も起動しています。起動回数の約6割がSNSやSNSに上げる写真の編集アプリになっています。

SNSがこれだけ使われているのは何故でしょうか。LINEの既読表示機能に一因があります。友人からのメッセージを開けると、相手にはメッセージが読まれたことがわかる既読サインが付きます。若い人たちの間では既読に

なったら返事をしなければいけないという習慣があります。既読のまま返事をしないことを既読スルーと呼び、やってはいけないことをされていて、ずっと続けるために終わりません。返事を返したくない時は、既読が付かないようにアプリを一度切ることが大事です。その為、スマホのアプリは付けたり切ったりがせわしなく繰り返されます。

ゲームアプリ利用には新しい発見がありました。ゲームアプリは若い男性が沢山使っているイメージがありますが、実は一番使っているのはその母親世代であることが今回の分析でわかりました。今のゲームはいつでもすぐ継続ができるので、家事の隙間に器用にやっているということです。

スマホの利用時間尺は、女性10代が最も長く約2時間半です。SNSアプリの起動回数は約6割でしたが、その利用時間尺は約4割しかありませんでした。つまり、1回の使用時間が短くせわしないということです。このことから、スマホは恒常的に友人とのコミュニケーションをするために使われており、じっくり楽しむエンターテインメント利用よりも優先されていることがわかります。

さて、皆さんYoutubeをどのようにご覧になってますか。横画面のフルスクリーンで見ている方は年配者の証です。若い世代は縦向きで見ながら、次に何を見るのかをスクロールして探しています。スクロール出来る事が重要で、友達から面白いと言われた動画をさっと見て、ネット上の情報をつまみ食いしたいだけということです。横画面視聴は、テレビ的、エンターテインメントコンテンツ向きで長尺、縦視聴はスマホ的でコミュニケーションコンテンツ向きで短尺と、動画について二つに分けることができます。今流行っているのはコミュニケーション系の方です。

さて、若い世代が年齢を重ねていくと、メディア行動がどのように変わっていくでしょうか？実は、年齢持ち上がり効果というのがあって、若いころのメディアリテラシーを保持したまま加齢していきます。例えば、2000年の20代は、10年後皆例外なく10歳年を取って30代になっています。過去と現在のデータを時系列に並べた時、同じ年齢階層でデータを分析するのではなく、右斜め上にスライドさせながら見ていくとわかりやすいということです。当時テレビが大好きだったテレビっ子は今現在50代になってもテレビ好きだということです。分析をする時は、対象世代が若かった頃を見ていただくとうりやすいです。50代はテレビ世代、40代はPC世代、30代がガラケー世代、20代がマルチデバイス世代となります。

最後に、統計では平均値という考えがありますが、「平成」の時代には通用しないと感じています。「昭和」の時代は、何事においても正規分布をしていて、平均値・中央値・最頻値が同じで釣鐘型の構造になっていたと思います。「平成」の時代は二極化で捉えることが必要です。平均値を狙っても実はそこに人がいません。全てのユーザーにというサービスは勢いがありません。ターゲットを狙ったピンポイントなサービスを展開し、人々を集めていく方が上手くいくと思います。今後は時間とお金に余裕のある年配層へのサービスを継続するとともに、若年層への配慮やターゲットティングしたサービス開発を並走させる必要を強く感じます。

例会のご案内

■今週の卓話

10月6日(木)

卓話者：サントリー酒類(株) 三澤紀雄さん

テーマ：ジャパニーズウィスキーセミナー

■次週の卓話

10月13日(木)

卓話者：地区米山奨学委員会委員長

金田秀和さん

テーマ：米山記念奨学事業について

■次々週

10月20日(木) 振替により例会変更